

2023 な な さ と

な るほど な っとく さ あ と りくむぞ！ やって伸びる七里っ子！

R5. 12. 19 (火)

第57号

文責：校長 川添
七里小学校

第74回 こども県展

特選おめでとう！

17日（日）の高知新聞紙上で第74回のこども県展の推薦・特選入賞者の発表がありました。本校からも下記の皆さんの作品が特選に入賞されました。おめでとうございます。

今年度は、**3月1日**に「**芸術に触れる体験学習**」を計画しており、みんなで高知県立美術館に出向き、今回新聞発表された全ての入賞作品（**こども県展**）を鑑賞する予定です。また、高知放送開局70周年・高知県立美術館開館30周年記念として開催される「**ジブリパークとジブリ展**」も観覧予定です。楽しみですね。



【本校の特選入賞者一覧(敬称略)】

図画の部	1年	西 友里恵
	3年	武田 柊冴
	3年	堀部 陽向
硬筆の部	1年	山脇 考平
	4年	横山 葵
毛筆の部	3年	沖田 古都
	3年	前田 結菜
	4年	横山 葵

今回の発表は、特選以上の入賞者でした。優秀や入選の皆さんの正式発表は3月に予定されています。楽しみですね。

尚、本校では、特選以上の入賞作品を3月末から1年間児童玄関に掲示しています。ご来校の際に、ぜひご覧ください。（現在は、昨年度の入賞作品を掲示しています。）

6年生W受賞！おめでとう！



第73回社会を明るくする運動作文コンテストにおいて、応募数570点中上位7点に本校から2名入賞というビッグニュースが入り、昨日、四万十町保護司会の壬生会長さんと中平さんが来校され、校長室において伝達表彰式が行われました。

「一つの町から2名入賞することも難しい中、一つ

の学校から2名入賞ということで、地元在住者という立場からも大変うれしく誇らしく思います。」と壬生会長さんからの温かなコメントでした。



古谷 春輝さん「優秀賞」(第2位に当たる賞)

藤田 玲皇さん「高知県更生保護女性連盟会長賞」

「優秀賞」に輝いた春輝さんの作品を紹介します。

ふわふわ言葉

四万十町立七里小学校 六年 古谷 春輝

今年の7月2日に、北海道のホテルの浴室で頭部が切断された遺体が見つかった事件がありました。ぼくは、なぜ頭部を切断する必要があるのかと思いました。ニュースを見た瞬間、「怖っ。」と思わず声に出ました。考えてみても意味がわかりませんでした。それぐらい残忍なことだと思います。なぜそのようなことをしたのか、分からなかったのも、罪を犯してしまった人がどうしてこんなことをしてしまったのかを調べてみました。被害者とのトラブルが原因でした。完全に相手が悪い場合は怒ってしまう気持ちもわかります。だって、人間だからです。けど、罪を犯すのはいけません。ぼくは、犯行の原因を知って、もしこの人が、心が広く、周りにもそのような人があふれていれば、このような犯行に及ばなかったんじゃないかなと思いました。

心を広くするためには、誰にでも優しく接することが大事だと思います。優しくすることで、犯罪もしないと思います。「**ありがとう。」「や「すごい。」といった言葉などを日頃から言っていたら、こんなことはしなかったかなって思いました。**」全人類に「ありがとう。」「や「すごい。」って言われて、嫌な顔をする人はいません。

ぼくも、休み時間に一輪車に初めて乗れて、友達に「すごい！」「いけるやん！」と言われたとき、とても嬉しかったです。一輪車は、運動会の学年の取り組み種目で、ぼくは苦手だったので、その時まだ上手に乗れていませんでした。いつもは、2、3こぎしかできていなかったけど、一回だけ、つかまっていた手すりから4メートルくらい離れた先の手すりまで進むことができて、その時、周りにいたみんなが自分のことのように声を出して喜んでくれました。ハイタッチをしたり一緒に手を叩いたりしてくれました。楽しくて、心がほかほかしました。その言葉を聞いて、練習をもっとがんばろうと思えました。

ほかに、友達が筆記用具を忘れていた時に物を貸したり、委員会の仕事で友達の手伝いをしたりした時、バレンタインの日にチョコを作って友達にあげた時など、「ありがとう。」の言葉をいっぱいもらいました。「ありがとう」と言ってもらって、ぼくはとても嬉しくなりました。**たった一言だけど、「ありがとう。」は魔法の言葉だとぼくは思います。**一言聞くだけで嬉しくなるし、仲良くなれるからです。こんな言葉が世の中にたくさん増えると、平和になっていくのではないのでしょうか。「すごいね！」「や「ありがとう。」を自分も言っていたら周りの人も言うようになる。こうしていれば犯罪も起きないはず。だから、罪を犯してしまう人も、このような言葉や気持ちを誰かと共有していれば、とった行動はちがっていたのかなと思いました。

一輪車の練習のときに、友だちに言ってもらったように、ぼくも、たくさん「すごい！」と友達に言いました。ぼくが声をかけると友達はとても笑顔でした。それを見てぼくもさらに嬉しい気持ちになりました。でも、いつもはそんなにぼくも「すごいね。」「や「ありがとう。」を言えていないので、普段から言っていきたいなと思いました。

平和で、人が言われて嬉しいふわふわ言葉が増えるといいです。

たった一言だけど「ありがとう」は魔法の言葉だと考えた春輝さん！春輝さんの作文を読みながら、言葉の持つ力について改めて考えさせられました。そして、先日、ある講演会で聞いた「今、いがみ合っている国のトップ同士が笑顔であいさつを交わすことさえできたら、戦争は止められる！**たった一言かもしれないけれどあいさつには人と人の心をつなぐ大きな力がある**のです。」という話を思い出しました。

先週の金曜日、地域の方からうれしいお電話を2本受け取りました。その一つが「**子どもたちの登下校中のあいさつと笑顔が気持ちよくて、毎日たくさんの元気をもらっています。**」というものでした。その方は、「あいさつはできる限り大人である自分の方からするようにしています。3～4年前までは返ってこないこともあったけれど、ここ1～2年、子どもたちが変わりましたね。先生方自信を持ってこれからも七里の子を教育育ててください。」と励ましてくださいました。受話器越しに届いた最高のふわふわ言葉でした。春輝さんの作文にあるように、ふわふわ言葉があふれる学校・家庭・地域になると素敵ですね♡